

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)
[First Hit](#)

☐ [Generate Collection](#)

L7: Entry 2 of 5

File: JPAB

Apr 13, 2001

PUB-NO: JP02001103198A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001103198 A
TITLE: COMMUNICATION TERMINAL

PUBN-DATE: April 13, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

TAKAOKA, TATSUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

RICOH CO LTD

APPL-NO: JP11278614

APPL-DATE: September 30, 1999

INT-CL (IPC): H04 N 1/00; H04 M 1/56; H04 M 11/00; H04 N 1/44

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow a user to pleasantly utilize the processing using an F code function by surely and easily retrieveing and accessing a desired box such as a confidential box with respect to a communication terminal such as facsimile equipment that is configured to be able to execute the F code function where communication is made by using the confidential box or the like proposed by the Communication Industries Association of Japan.

SOLUTION: In the facsimile equipment 10 that is provided with the F code function where the F code designated by a command such as a SUB command in compliance with the ITU-T T.30 recommendations is used to retrieve and specify a box to store image information and the confidential processing is applied to the image information, an entry permission/entry reject in response to a type of an entry key is selected by each specific digit so as to reject entry of a 'space' key at the head of the F code or the password in the case of entering and setting the F code or the password as box information in a system memory 12.

COPYRIGHT: (C)2001,JPO

[Previous Doc](#) [Next Doc](#) [Go to Doc#](#)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-103198

(P2001-103198A)

(43)公開日 平成13年4月13日(2001.4.13)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マコード*(参考)
H 0 4 N 1/00		H 0 4 N 1/00	C 5 C 0 6 2
H 0 4 M 1/56		H 0 4 M 1/56	5 C 0 7 5
11/00	3 0 3	11/00	3 0 3 5 K 0 3 6
H 0 4 N 1/44		H 0 4 N 1/44	5 K 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数8 O L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願平11-278614

(22)出願日 平成11年9月30日(1999.9.30)

(71)出願人 000006747

株式会社リコー

東京都大田区中馬込1丁目3番6号

(72)発明者 高岡 達夫

東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式
会社リコー内

(74)代理人 100072604

弁理士 有我 軍一郎

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 通信端末装置

(57)【要約】

【課題】 本発明は、通信機械工業会で提示された親展箱などを用いて通信を行うFコード機能を実行可能に構成されたファクシミリ装置などの通信端末装置に関し、親展箱などの所望のボックスを確実かつ容易に検索しアクセスし得るようにして、Fコード機能による処理を快適に利用可能にすることを目的とする。

【解決手段】 I T U-T T. 30勧告に従うSUBなどのコマンドにより指定されたFコードで、画情報を格納するボックスを検索・特定し、該画情報を親展処理などするFコード機能を備えるファクシミリ装置10において、システムメモリ12内のボックス情報として、Fコードやパスワードを入力し設定する際に、入力キーの種別に応じた入力許可／入力拒否を特定桁毎に切り換えて、先頭側に「スペース」キーを入力されることを拒否する。

ボックス情報管理テーブル [N] 個

201 ボックスの属性				
202 ボックス種別				
203 Fコード				
204 パスワード				
205 ボックス名称				
206 Fコード桁数					
207 ボックス別情報				
				

【特許請求の範囲】

【請求項1】ITU-T T. 30勧告に従うコマンドにより指定するFコードで、通信情報を格納するボックスを検索・特定し、該通信情報を指示に従って処理するFコード機能を備える通信端末装置において、前記ボックスに関する情報を入力する際の入力キーの種別に応じた入力許可／入力拒否を特定桁毎に切り換えることを特徴とする通信端末装置。

【請求項2】前記ボックスへのアクセスを許可するFコードまたはパスワードの入力時に、特定桁毎に入力キーの種別に応じた入力許可／入力拒否を切り換えることを特徴とする請求項1に記載の通信端末装置。

【請求項3】前記ボックスを開設する際の当該ボックスに関する情報の登録時に、特定桁毎に入力キーの種別に応じた入力許可／入力拒否を切り換えることを特徴とする請求項1または2に記載の通信端末装置。

【請求項4】前記ボックスを検索する際の当該ボックスに関する情報の入力時に、特定桁毎に入力キーの種別に応じた入力許可／入力拒否を切り換えることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の通信端末装置。

【請求項5】前記ボックスに関する情報の入力キーとして使用することを許可されているスペースキーが、当該ボックスに関する情報の1桁目に入力されることを拒否することを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の通信端末装置。

【請求項6】前記入力キーの種別に応じて特定桁毎に切り換えられた入力許可／入力拒否を反映させて、開設したボックスに関する情報を表示部に表示出力することを特徴とする請求項1から5のいずれかに記載の通信端末装置。

【請求項7】前記入力キーの種別に応じて特定桁毎に切り換えられた入力許可／入力拒否を反映させて、開設したボックスに関する情報を記録紙に記録出力することを特徴とする請求項1から5のいずれかに記載の通信端末装置。

【請求項8】前記ボックスを検索するために受け取った情報から、入力を拒否される特定桁の情報省いて、開設済みのボックスに関する情報と比較することを特徴とする請求項1から6のいずれかに記載の通信端末装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ファクシミリ装置等の通信端末装置に関し、詳しくは、ITU-T T. 30勧告に従うコマンドにより指定するFコードでボックス指定して、親展通信等を行い得るものに関する。

【0002】

【従来の技術】現在、通信端末装置は、メカや機種異なる装置間でも正常に通信することができるようITU-T T. 30勧告に基づいたファクシミリ通信手順を実行するのが一般的であり、このT. 30勧告で

は、親展通信に使用するサブアドレス信号(SUB)、選択ポーリングに使用する選択ポーリング信号(SEP)、両者に使用するパスワード信号(PWD)、送信側識別信号(SID (Sending ID: SUB使用時のPWDであり通信時のDIS/DTC/DCS上のビットはPWDと同一のビット番号「50」である))、等が規定されている。

【0003】この種の通信端末装置、特にファクシミリ装置には、ITU-T T. 30勧告の拡張フィールドを用いて、発呼側からサブアドレスで指定された箱(例えば、ボックス単位に管理する画像メモリ領域)に被呼側で受信した画像データを記憶し、その被呼側で予め設定された暗証番号(PWD)を入力された場合に限って、そのボックスから画像データを印字出力する親展通信機能や、被呼側の複数のボックスに予め画像データを蓄積しておいて、発呼側から所望の画像データを蓄積するボックスの選択ポーリングIDとパスワードを送信することにより、被呼側がその選択ポーリングIDとパスワードの一致するボックスを検索して、該当するボックスの画像データを発呼側へ送信する選択ポーリング通信機能を備えるものがある。

【0004】そして、通信機械工業会においては、SUBを使った親展送信や、SEPを使った(選択)ポーリング受信などに関するアプリケーション等を検討することによって、メカや機種異なる装置間でも正常に通信可能に、ITU-T T. 30勧告に従うコマンドにより前記箱を指定するFコードを採用し、この箱(以下、ボックスともいう)の概念を拡張した親展箱、掲示板、中継用箱を提示している。このFコード機能を備えるファクシミリ装置等の通信端末装置としては、ボックスを持つFコード対応センタ機と、ボックスに対する送信(Fコード送信)機能及びボックスの情報を取り出す(Fコード取り出し)機能を有するFコード対応機と、に分類されている。

【0005】このFコードはITU-T T. 30勧告の拡張部分(拡張フィールド)によってボックスを介したデータ通信を実現する機能を示し、この拡張部分を用いてサブアドレス、等を設定することができ、PWDやSIDに関してはメカマターとなっており、ボックス(システムメモリの管理領域)の運用については受信側に任せられている。

【0006】例えば、SUB受信するボックスに配信先を登録しておくことによって、受信機が受信後に前記配信先へ送信する中継同報送信機能を実現できる。この場合、送信側はSUBで所望の受信ボックスを指定し、さらに必要に応じ、SIDで暗証番号付きポーリングを指定する。一方、受信(中継)側は画像メモリに画像データ(文書)を保持し、SUBによって受信ボックス(中継ボックス)を指定されると、その中継ボックスの中にある配信先に転送する。また、受信側はSUBによって